

KOJIMACHI WEEKLY

THE ROTARY CLUB OF TOKYO KOJIMACHI

vol.54 no.14

2021.11.15

SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度年度

国際ロータリー会長 Shekhar Mehta

Rotary
東京麹町



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第14回例会 2021.11.15 (#2325)

例会ホスト・紹介係 木寅君
受付係 地引君 鈴木君
司会者 鄭君 ソングリーダー 守屋君

卓話 「出会い、感謝 ボクシングのおかげで」

JBC レフェリー 吉田 敏和氏

紹介者 若林会員

前回の報告

第13回例会 2021.11.8 (#2324)

例会ホスト・紹介係 末竹君
受付係 濱田君 保科君
司会者 鄭君 ソングリーダー 守屋君

卓話 税を知る週間に因んで 「YUME」

麹町税務署々長 青木 幸弘氏

紹介者 地引会員

会長報告

- 1) 本日は、麹町税務署より、青木幸弘様にお起し頂きました。後程よろしくおねがい致します
- 2) 吉田会員のお母様の訃報がございました。慎んでお悔み申し上げます。
- 3) コロナ感染が下火になってきているようです。できればこのまま落ちついてくれたなら、久しぶりの親睦会も開催出来るのではないかと思います。
- 4) 米山奨学生のフさんが出席です。先月にはお里のお話を有難う。今日の週報に掲載しています。

幹事報告

- 1) 前回、親睦委員長からお話のあったように、このまま感染状況が落ち着いてくれば、クリスマス会をこのホテルで開催する予定です。久しぶりの親睦会です、楽しみにしましょう。
- 2) 来年、6月に開催される国際大会にあわせて、現地でのガバナーズランcheonパーティーに参加希望の方は、お申し出ください。
- 3) 例会修了後、定例会理事会を開催いたします。該当のかたはおのこり下さい。

例会記録

会員総数 43名 出席会員数 33名
ゲスト 2名 オンライン参加 0名
ビジター 2名 その他 1名
海外ビジター 1名 事務局 2名

ニコニコボックス

金田会員:11/6、国立小劇場にて、長唄
「道声会」が開かれ「勸進帳」を歌わせていただきました。ロータリアンから声援を頂きありがとうございました。

若林会員:お久しぶりです。ガバナー毎日頑張っています!!

加賀会員:ローターアクト、神田川沿い清掃活動にご参加いただきありがとうございました。

パートナー誕生日:浅野会員(21日)

結婚記念日:須藤会員(14日)

次回予告

第15回例会 2021.11.29 (#2326)

会場:舞の間
例会ホスト・紹介係 加賀君
受付係 山田君 吉沢君
司会者 鄭君
ソングリーダー 守屋君

卓話 「PHRIについて」

(Personal Health Records)

久保田 智也会員

中央分区 献血ロータリーデー
献血協力者募集のお願い
ご参加の方はお申し出ください

献血のお願い
11月28日(日)
10:00～11:45/13:00～16:00
新宿駅南口(JR改札口)前
【主催】東京練馬中央ロータリークラブ

今回の来場目標は、**60名様**以上を目指しています!!

世界を駆けるチンドン屋

U-STAGE&菊之家 主宰 嶋崎 靖様(10/18 卓話)



COLUMN

「七福神、英国に行く！」

チキチンチンチンチン!! あのハイドパークにチンドンの^{かね}鉦が鳴り響いた。目を輝かせて跳んで来る子ども、家族、カップル、老人、若者…、あっという間に人垣に取り囲まれる。その人垣を引きつれて、カラフルな七福神が“ハーメルンの笛吹き男”よろしく世界一有名な公園をパレードする。曲目はチンドン屋の定番「竹に雀」から「美空ひばり」、「プッチモニ」まで。踊り出す人、タンバリンを叩く人、一緒に歌い出す日本人…。

私達U-Stage 7人は、英国における日本紹介大型事業であるJapan 2001の趣旨に賛同し、草の根レベルでの交流を実践すべく5月17日に英国へ渡り、ロンドンを皮切りに、約4か月間に及ぶ公演ツアーを敢行した。車の屋根に、黒地に赤字で「遊舞台」と大書きした大太鼓を入れる箱を載せ、七福神の宝船に見立てて、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドまで、英国全4地域、約2万kmを走り回った。

小雨降るケンブリッジの街をびしょぬれになりながら神輿を囃した。カーディフでは、ウェルシュ・ダンスのパーティーに呼ばれ、昼はもちろん、夜を徹して歌い踊った。エジンバラの国立博物館、マンモスや麒麟のかたわらで、天狗の面を被った^{もろたひこ}猿田彦が絡む獅子舞を。アイルランド共和軍(IRA)問題なども話し合われるヒルズバラの「迎賓館」では北アイルランド首相を前に太鼓を披露。スコットランドのボーダー地方では、地元の劇団、地域の子供達と「天の岩戸」神話を劇に創作し、主要な役で出演。

湖水地方や各地の小学校では、子ども達と一緒に太鼓を叩き、持参した世界地図を見せ「日本から見れば英国は極西である。」などと…。

ある学校で午後のワーク・ショップが終わった時、先生が大喜びしながら朝撮った写真を持ってきてくれた。その中の一枚、子どもの表情が活き活きして実に良い。すると先生は「彼は両親を無くしたばかりなの。その子がこんなに…」と涙ぐむ。「無くした」は離婚の意味であったのだが、一時でも子ども達を勇気づけることができたことに私達も感動した。

私達のチンドン屋を沿道で見ただけで涙ぐむ日本人女性。お結びの差し入れ。世界各国のパフォーマー達との共演。拍手、歓声、笑顔、泣きながら別れを惜しんでくれた人達…。小学校の給食を食べ、男女の区別さえない宿に泊まったこともある。公演、宿泊、移動に至るまですべて自分たちで直接連絡をとった。

そうして得た感動体験の数々。

日本はとかく閉鎖的と言われるが、世界中の文化を貪欲に吸収してきたのも事実だ。それが証拠の七福神。私は「日本は文化の吹き溜まり」とさえ思う。今必要なのは発信していくことではないのか。だからこそ七福神で海を越え、狭くなってしまった地球に共生する多様な世界観や文化の共存を表現したつもりだ。それを暖かく迎えてくれた英国の人達。今はただ、この旅を支えて下さった大勢の方々に感謝の気持ちで一杯だ。何はともあれ、まさに“チン道中”であった。



七福神、英国に行く！（先頭を行くのが嶋崎氏）

執筆：U-Stage 主宰 嶋崎 靖